

MACF 礼拝説教要旨

2022年6月26日

「あなたはイエスさまの身内」

ルカによる福音書

8:19 さて、イエスのところに母と兄弟たちが来たが、群衆のために近づくことができなかった。

8:20 そこでイエスに、「母上と御兄弟たちが、お会いしたいと外に立っておられます」との知らせがあった。

8:21 するとイエスは、

「わたしの母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞いて行かう人たちのことである」とお答えになった。

\*\*\*\*\*

短いエピソードなのですが、とても大事なことが語られているように感じたので今朝はここからお話をしたいと思います。

イエス様の名前とその活動が知られるようになり、大勢の人たちがイエス様のところに群がるようになりました。その多くは病人、社会的に恵まれていない貧しい人、社会から軽蔑されているような人たちが圧倒的に多かったと思います。

イエス様はそれらの人たちのひとりひとりの必要を知り、忙しく応答しておられました。

そんな状況の中でひとつの事件がおきました。

イエス様の多忙と疲労を心配したのかお母さんのマリアと弟たちがイエス様に会おうとやってきたのです。

結果的にイエス様が家族に会ったのかどうかはここには記録されていません。

おそらく会ったと思います。

しかし、今朝注目したいのはイエス様の言葉です。

「わたしの母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞いて行かう人たちのことである」というものです。

これは重大な発言です。

もちろん、イエス様にとってお母さんはマリアであり、兄弟はつい先ごろまで一緒に生活していた家族です。それは否定されてはいません。

重大と言ったのは、イエス様はご自分の身内に、

「神の言葉を聞いて行かう人たち」を加えておられるということです。

もっと平たく言えば、イエス様のメッセージに心を留め、イエス様の教えに沿って人生を進めて行こうとしている人たちはイエス様の家族であり、身内であり、イエス様は彼らの味方だということです。

わたしたちはそんなふうにはイエス様と関わっているでしょうか。

詩編 1 編に

1:1 いかに幸いなことか

神に逆らう者の計らいに従って歩まず

罪ある者の道にとどまらず

傲慢な者と共に座らず

1:2 主の教えを愛し

その教えを昼も夜も口ずさむ人。

1:3 その人は流れのほとりに植えられた木。

ときが巡り来れば実を結び

葉もしおれることがない。

その人のすることはすべて、繁栄をもたらす。

という言葉があります。

神様の教え、イエス様の教えと生き方を学び、思い巡らし、その線にそって生きたいと願い、人生の土台にイエス様からの愛を据えイエス様を信頼して歩んでいる人のこと、つまり、あなたのことをイエス様は「わたしの身内」「私はあなたの味方」と呼んで下さっているのです。

おそらく、ルカの福音書の文脈の中では、この家族は「12使徒」たちだったと思います。

さて、ここで問題です。

わたしたちは、あるいは12使徒たちは、イエス様の身内であり、イエス様が味方であるということ

をどれほど喜び、心強く思っていたでしょう。そして、そのまま、わたしたちにも問わねばなりません。

わたしたちはイエス様の家族、イエス様の身内、イエス様が味方だということ

をどれほど現実的な生活の中で心強く、また嬉しく感じ取りながら生きているでしょう。

実は好調のとき、弟子たちはある意味でイエス様に近く生きられていることで有頂天でした。ですから、神の前で俺たち12人の誰が一番えらいの

だろう、誰が一番神様に誉められるのだろうなどと議論することがあったのです。

イエス様に近く生きられることで嬉しかったのです。

ところがイエス様の十字架を前にしてペトロは3度イエス様を否定し、非難し、ユダは銀貨30枚でイエス様を売り飛ばし、他の弟子たちもみんなイエス様の十字架からは逃げ出してしまいました。

十字架の現場と一緒にいたのはヨハネによる福音書によると

19:25 イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアと

マグダラのマリアとが立っていた。

それに愛する弟子と呼ばれたヨハネです。

その後、ペトロも他の弟子たちも復活のイエス様と出会い、赦しを得、回復し

その後の活動へと導かれていきました。

神の家族、イエス様の身内、イエス様が味方、そういう出来事はわたしたちの

日常にどれほどの影響を及ぼしているのでしょうか。

イエス様はその活動に忙しく、ご自分の家族のことよりも、困っている人、弱っている人に

応答し、自らの言葉と行いに神の愛を見、神の愛を感じ、それを信頼してついて来る人達に対して、あなたは私の身内だと伝えたのです。

それは彼らには、身に余る光栄と映った瞬間があったと思います。

身の引き締まる思いをしたと思います。

でも、困難があると、その招きが「迷惑」と感じたり「不足だらけ」と感じてイエス様ご自身との身内関係の中にある豊かな祝福や取り扱いを十分に受け取れなくなる傾向をわたしたちは持っているようです。

もちろん心の中では、わかっているんですよ。

イエス様の身内扱いされることの嬉しさは。

でも、すねてしまったり、人のせいにしたり、自分の心が元気でないのは、あのこと、このことのせいだと言い切ってしまうことはないですか。

でも、イエス様はそれを承知で、わたしたちに対して「あなたはわたしの身内だ」

「私はあなたの味方だ」と語り続けてくださいます。

そのことをしっかり心の中に覚えたいと思います。そこにわたしたちの希望があります。

ボブ・ディランが作った楽曲の中に「To make you feel my love」というのがあります。ラブソングとして理解されていますが、思うにイエス様のわたしたち身内に対する心が表明されているように、私は理解しました。

【To make you feel my Love】  
(私の愛を感じられるように)

あなたの顔に雨が降り注ぐとき

世界の全てがあなたにのしかかるとき  
私はあなたを抱き締めて温もりを伝えてあげる  
わたしの愛を感じられるように

夕方の闇と星が現れる時  
あなたの涙を乾かす人が  
誰もいないとき  
私は何百万年でも抱き締めていてあげよう  
わたしの愛を感じられるように

・・・ (中略)

わたしが空腹になってもいい  
青あざができるほど打ちのめされてもいい  
地を這う事になったっていい  
わたしがあなたのために出来ない事など何もない  
わたしの愛を感じられるように

嵐がうねる海の上で荒れている  
後悔の道の上にも  
変化の風は  
奔放に、自由に吹いている

幸せにしてあげよう、夢を叶えてあげよう  
あなたのために、出来ない事など何もない

あなたのためなら地球の果てまで行こう  
わたしの愛を感じられるように

<https://youtu.be/fdWto-AUM3Q>

\*\*\*

イエス様は、御言葉を求め、御言葉にもとづいて  
イエス様を信頼し、そのところで生きようとして  
いるわたしたちに対して「あなたはあたしの兄弟、  
姉妹」「わたしの身内」「わたしは味方」  
と語られます。  
その言葉とその意識がどれほどわたしたちに届い  
ているのか心を探られます。

その御方が常に「ともにおられる」ことがわかる  
とわたしたちの心は溶かされる思いがします。

\*\*

しばらく  
この聖句に注目し、イエス様の心を感じ取りたい  
と思います。  
あなたに語りかけられている言葉として心に受け  
取ってみてください。

ルカによる福音書 8章 21 節

「するとイエスは、  
「わたしの母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞  
いて行かう人たちのことである」と  
お答えになった。

\*\*\*\*\*

MACF 礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/5EmYv4DbxuY>